

議題 2 次期計画の体系について

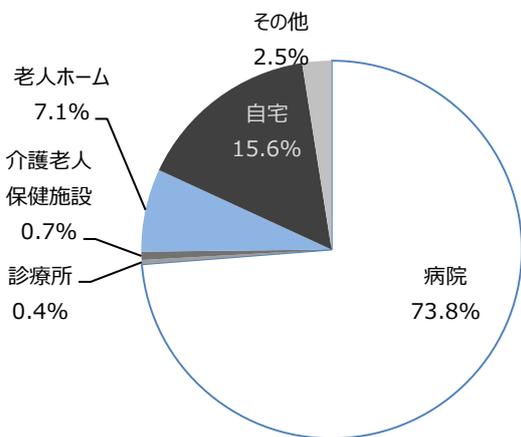
1 次期計画の考え方

(1) 長久手市に住むすべての市民が「いつまでも住み慣れた地域で、居場所と役割を持って暮らせるまちづくり」を推進していくためには、

- ・一人ひとりが健康でいきいきと暮らすこと
- ・地域のつながりと支えあいを基盤とすること が重要ではないか。

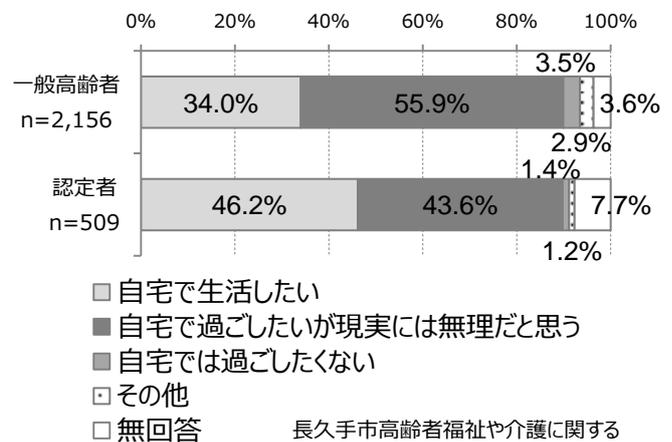
(2) 「地域のつながり」を基盤として、みんなが健康でいきいきと暮らすことができ、希望する人が、自宅で療養し、地域の方とつながりを持ちながら最期を迎えることができるようなまちづくりを進めていきたい。

図 1・亡くなった場所



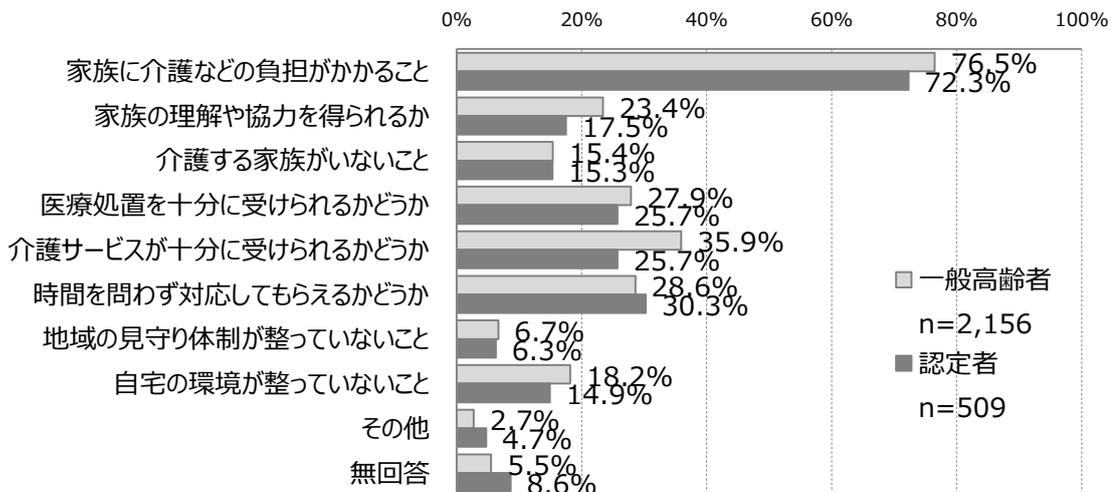
愛知県衛生年報第11表 (H27)

図 2・最期まで自宅で過ごしたいか



長久手市高齢者福祉や介護に関するアンケート (H29)

図 3・最期まで自宅で過ごすことについて不安に感じること



長久手市高齢者福祉や介護に関するアンケート (H29)

2 施策の体系（案）

基本施策	取組分野	主な施策(一例)
いきいきとした活動的なくらしをめざす	健康づくりの場(生きがい、介護予防)	福祉の家再整備、ラジオ体操の普及、生涯学習、スポーツ、健康マイレージ
	気軽に外出できる環境整備	外出促進、環境整備、N-バス
	活躍できる居場所	就労支援、シニアクラブ
	総合事業の推進	総合事業
つながりと支えあいのある地域をめざす	支え合い、つながり	生活支援体制整備事業、サロン、地区社協、地域共生ステーション、見守りネットワーク、見守りサポーター
安心な暮らしをつくる	住みやすい環境整備	シルバーハウジング、住宅改修
	安心、安全	実態把握、要支援者登録、防災、防犯
	困りごとの解決を図る	悩みごと相談、そうだんシート
	認知症施策の強化(推進)	認知症ケアパス、認知症サポーター
	虐待防止、権利擁護	成年後見
サービスの充実をめざす	在宅介護の限界点を高める	生活支援サービス、地域包括支援センター、介護離職防止、
	質の向上、給付適正化	ケアプランチェックなどの給付適正化事業、事業所指定、医療介護連携、介護相談員
	人材確保	潜在有資格者研修
	重度化予防	

※総合事業は、「いきいき」と「つながり」の双方に関連する施策(分野)として、位置づける。